

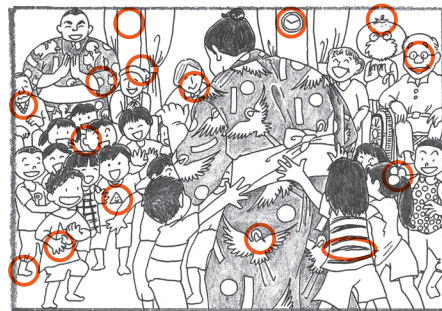
クイズまちがいがいせがし

左の絵を見て、まちがいを15カ所見つけてね。正解された方のうち、抽選で5人の方に図書カードをプレゼントします。

秘書広報課 ☎66♦1145

応募方法

はがきまたはファックスに①答え(左の絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて秘書広報課(〒443・86001 FAX 66♦1192)へ。当選者と答えは、広報がまごおり12月号に掲載します。



8月号の答え 相撲お楽しみ会

赤日子さん

何十年に一度といわれた暑い夏も過ぎ、秋風にホツとする今日この頃。10月の第1日曜日は赤日子神社のお祭り、前日に、前夜祭の宵祭りがあります。赤日子さんには、彦火火出見尊(ひこほでののみこと(山幸)、綿積豊玉姫命(わたつみとよたまひめのみこと(山幸の妻・竜女)、綿積豊玉彦命(わたつみとよたまひこのみこと(豊玉姫命の親・竜王)の3体の神様がお祭りされています。神様たちは参拜にやってくる人々を親しげに見ながら話しています。

「今年もみんなの願いが実るよう見とるからね」
豊玉姫命が、左右2つの穴の空いている大きい石をさすりながら、

「この石、潮満干珠(しおみちひのたま)は、この左右の穴に水を入れておくと、ここに居ながら潮の満ち引きを知ることができる竜宮の宝玉よ。昔この近くまで海が入ってあって、生活のためにも、戦のためにも潮の満ち引きは大事だったから、父竜王が、結婚の引き出物として、この潮満干珠を貴方に贈ったのよね」
彦火火出見尊が、「うん、不思議な潮満干珠のおかげで海に恵まれました。ありがたいです竜王様」

豊玉彦命が、「なに、わしは山幸の治める美りの大地がいいんじゃ、ながーい付き合いをしてきた人々が愛おしいわ。おーP太郎さん、相変わらず威勢がいいねえ」

赤日子神社は、千年以上前にできた延喜式の神名帳に搭載されている全国約3千の神社(式内社)に登録されています。蒲郡でも最も古い神社で県社に指定されています。

参考文献「蒲郡史談」がまごおり風土記 伊藤大章 著

8月号当選者 応募総数 65通 正解者61人(50音順・敬称略)
神田 道子(栄町) 西浦 柚季(豊岡町) 小谷川 颯大(清田町) 柴田 真由美(緑町) 金丸 和展(水竹町)